

(様式5)

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 11月 15日

事業所名 杜の風いろ葉

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・利用人数や様子、活動内容に合わせて、他の部屋も活用している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・賃貸の為、完全にバリアフリーにはできないが、1階部分を改修し、段差の無い移動ができる。対象児が利用される場合に活用できるようにしている。 ・2階は段差マットを使い対応している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・毎日除菌を行っている。 ・性能の良い空気清浄機を使っている。 ・活動に合わせてテーブル等を移動できるようにしている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・毎朝、朝礼ミーティングでじっくり話し合う事で全職員が理解し支援することが出来ている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・各保護者へ紙媒体を配布し公表している。 ・ホームページで公表している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・今後、外部評価を取り入れていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・オンライン研修を多く活用したり、他事業所へ見学させていただき、知識向上に努めている。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・PCDAをしっかり行い、計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・事業所の子ども達に合った、アセスメントを行う為に、ツールは適宜改良を重ねている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・朝礼等で当日の支援内容を話し合っている。 ・日々内容を記録し、職員全員が共有できるようにしている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・シフト制の為、勤務終了時間が違うので、記録に残したり、管理者に報告して、翌日の朝礼時に話し合い共有している。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・毎日の支援記録を徹底し、日々より良い支援が出来るよう話し合っている。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・遅くとも6か月に1度のモニタリングを行っている。利用児の変化に合わせて都度PCDAを行っている。	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・利用児の状況をしっかり把握している職員が参画している。	
関係機関や保護	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		・現在は該当する児童がいない為、該当となった場合には連携をとる体制を整えている。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		・現在は該当する児童がいない為、該当となった場合には連携をとる体制を整えている。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
者との連携	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		・職員のお子さんとの交流、公園や遠足の際に、一般のお子さんと遊んでいる。	
	29 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・毎日の様子を事業所から発信している。送迎時に保護者との会話で様子をお伝えしている。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・ペアレントトレーニングという正規の家庭支援プログラムではないが、子育て経験のある職員が、保護者の相談に寄り添い、自宅での困りごとを解決するために細かなアドバイスを行っている。	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に説明している。また、運営規程の変更が伴う場合は都度説明を行っている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・面談時に同意をいただいている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・毎日の何気ない会話から保護者の思いや悩みを察知し、保護者と利用児にとって一番の方法を職員間で話し合い共有した上で、助言を行う場合もあれば、傾聴するだけでも落ち着く場合もあることを理解し判断している。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・父母会や保護者会を希望されない方が多い為、あえて開催は見送っている。	
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・活動や行事予定、連絡体制などは、LINEを活用することにより明文化している。 ・ホームページ、インスタ、LINE等を活用して、事業所のイベントや長期休業日の活動等を発信している。		
38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・個人情報取扱責任者が責任を持って管理している。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・各ご家庭によって、利用予約や連絡方法、連絡のタイミングがあるので、臨機応変に対応できるよう注意を払っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・町内会の集まりやお祭りに参加、班長さんとのコミュニケーション、バザー開催等を行っている。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・ホームページ内に関係者（保護者等）が閲覧できる場所に各種マニュアルが掲載されている。又、年2回は訓練を行っている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・年2回総合避難訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・契約時に服薬や疾患名などを確認している。てんかん発作時の対応等も確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・食物アレルギーの利用児に対して、お弁当やおやつは基本、持参していただいている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・ヒヤリハット事例集を作成している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・年2回事業所内にて研修を開催したり、外部の研修に参加している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		・現在は該当する児童がいない為、該当となる場合には、体制を整える。